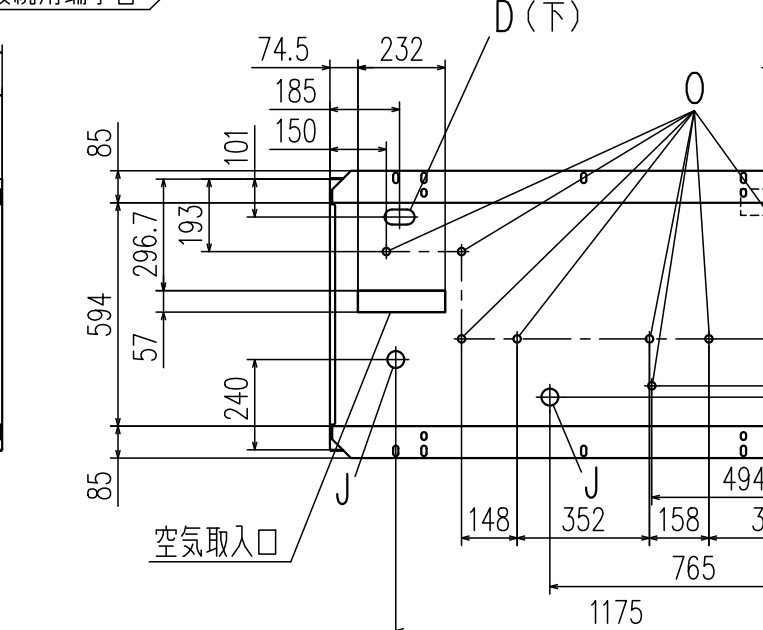
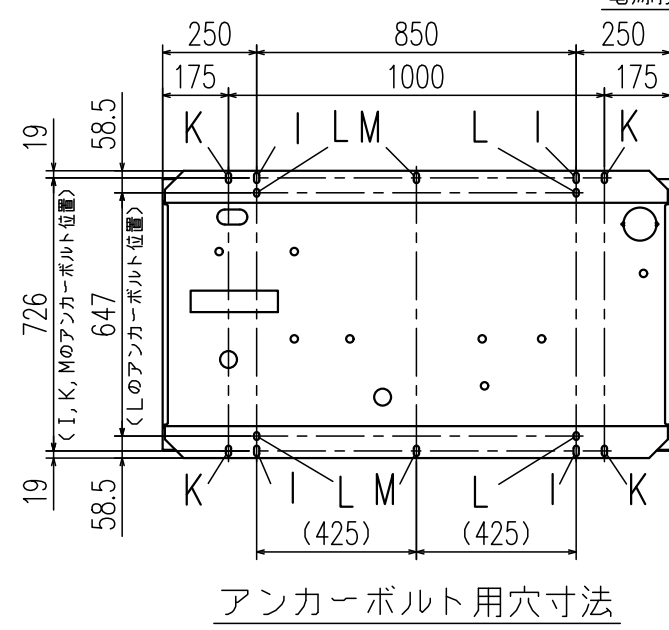
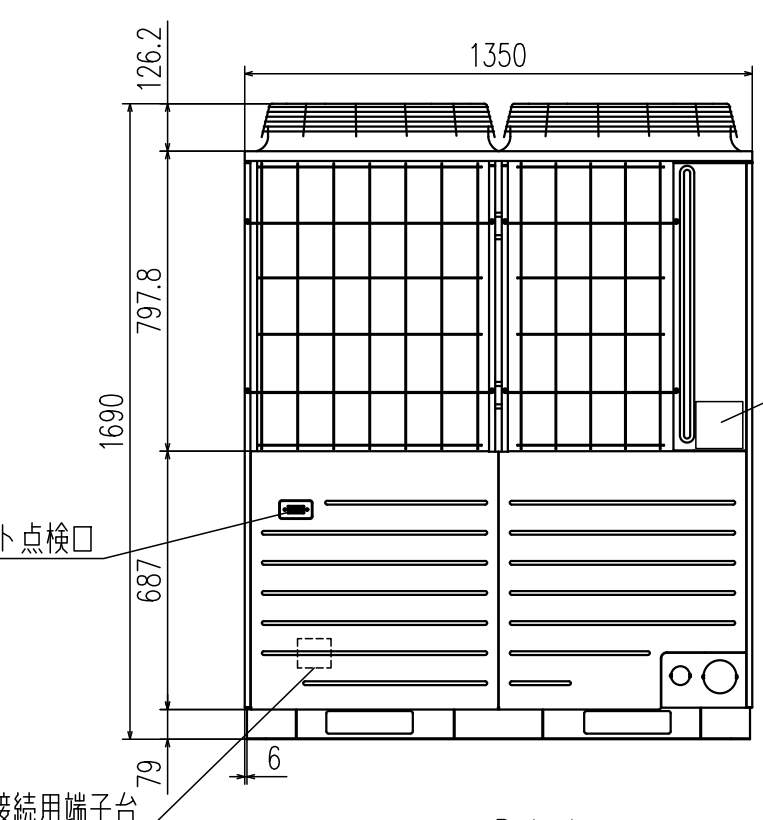
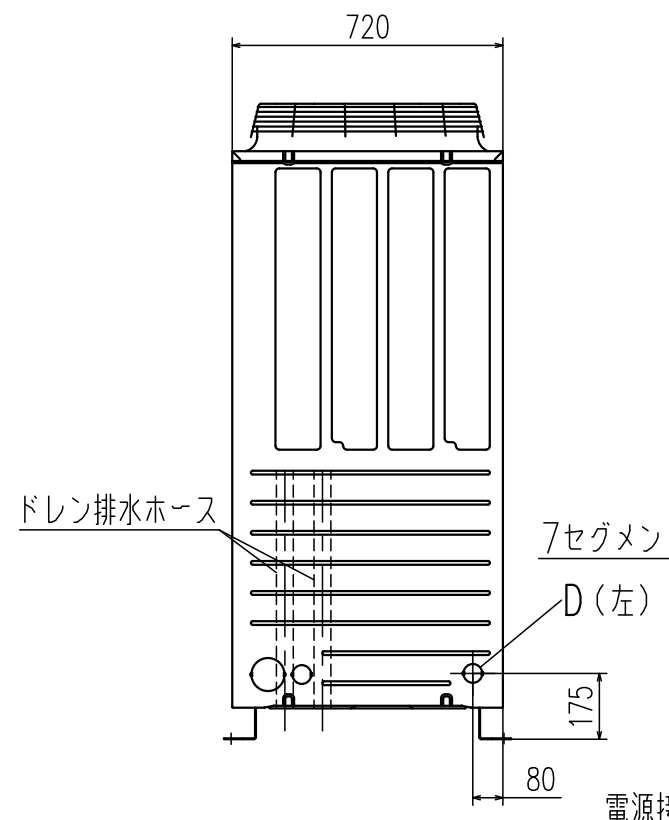


(単位: mm)

据付例	I	II	III
注(7) L1	800	800	800
L2	10	10	330
注(7) L3	800	500	800
L4	100 (*1)	500	100 (*2)
H1	1500	1500	1500
H2	制限なし	制限なし	制限なし
H3	1000	1000	1000
H4	制限なし	制限なし	制限なし

(*1) ユニットが壁面に接する場合は100mm以上必要ですが、ユニットの接続設置時は10mmのスペースで設置可能です。
 (*2) ユニットの接続設置で電源線をL2側から引き込む場合は、330mmのスペースが必要です。

記号	内	容
A	冷媒ガス側配管接続口	φ25.4Xt1.8 (ろう付)
B	冷媒液側配管接続口	φ15.88Xt1.0 (ろう付)
C	冷媒配管取出口	222X172.5
D	電源取入口	φ50 (右・左方向), 長穴40X80 (下方向)
E	サービスポート (均油管)	—
F	サービスポート (高圧)	—
G	サービスポート (オイルサービス, 中圧)	—
H	サービスポート (低圧)	—
I	アンカーボルト用穴	M10用4ヶ所
J	ドレン排水ホース用穴	φ45, 2ヶ所
N	サイトグラス	—
O	ドレン排水用穴	φ20, 8ヶ所
P	搬入、吊り下げ用穴	230X60



- 注(1) ユニットは必ずアンカーボルトで固定してください。 ※高調波対策機 (オプション対応) の場合のみ。
 (2) ユニット上部には2m以上のスペースをとってください。
 (3) 冷媒配管 (ガス側、液側共) の接続は現地手配です。
 (4) 冷媒配管接続口と電源取入口はハーフランク形状になっています。ニッパ等で切断しご使用ください。
 (5) ユニットの固定に、記号K, L, Mのアンカーボルト用穴 (M10用10ヶ所) もご使用できます。
 (6) 積雪が予想される地域では、吸込口、吹出口や底板下部が埋雪しないよう下記のような対策を行ってください。
 ① 積雪面より底板が高くなるよう室外機を架台の上に設置し、風がユニット下部を吹き抜けるようにしてください。基礎は凍結深度より深く掘り下げてください。
 ② 吹出口に防雪フード (別売品) を取り付けます。
 ③ 軒下に設置するか、雪除け屋根 (現地手配) を取り付けてください。
 (7) 冷凍機の点検や部品交換のためには、800mm以上のサービススペースを確保する必要があります。配管施工時は、サービススペースに干渉しないようにしてください。

適用機種	HCCV2001M, HCCVS2001M HCCV2001MF, HCCVS2001MF		
形式	HCCV	⊙	
発行者	名称	ユニット外形図 (OUTLINE)	
吉田	図番	18,413	LCA000Z011
	訂符	A	業別
			1/1